

第73回 牛鬼会議 会議録

日時	令和4年11月18日（金）18:00～20:00	作成者
場所	宇和島市総合福祉センター3階	宇和島NPOセンター 林 昭子
会議名	第73回牛鬼会議	
参加者	愛媛大学（前田 眞） 地域支え合いセンター（佐藤 猛） 社会福祉協議会（松田伸一） えひめグローバルネットワーク/えひめリソースセンター（竹内よし子）（増田） 中島農園（中島利昌） 愛媛新聞社 南予支社宇和島編集部（阪和 舞） うわじまグランマ（折原理恵） Clean the coast（西本和弘）（リモート参加） 吉田町手をつなぐ育成会（山本和美）（リモート参加） 宇和島市市民課（東宏和） 宇和島NPOセンター（谷本友子）（山口勇喜）（岡田雅信）（林 昭子）	

発信者	<p>1. 会議参加者アンケートによる提案と課題</p> <p>（1）宇和島npoセンター</p> <p>・牛鬼会議開催について</p> <p>（谷本代表）</p> <p>牛鬼会議の議題が無い場合、飛ばす案もあったが、今回議題の提出無かった。その場合、研修等をするということがあれば良いがそれも無いと、牛鬼会議の場として今後の方向性について意見を聞きたい。</p> <p>アンケートを、毎週水曜日で設定しているが、無い場合個別に聞き取りをしている。締切は水曜日で無い場合は翌月へ延期するという事も検討したいがどうか。案をいただきたい。</p> <p>（前田）</p> <p>議題が無い時は研修なども良い。例えば防災こくたいに行った時に、企画でブースをしていたところでいくと、子育てなどをしていところもあった。報告書の読み合わせなども。研修も色々と企画できると良い。</p> <p>（竹内）</p> <p>今回、インターンで増田も参加。南海トラフ地震も控え、災害と減災に向けてのネットワークづくりについて考えて行く必要。話し合いの中でこういった研修が良いといった情報を集めておくことで牛鬼会議で議題に対する意見交換ともう一つ減災に向けての情報共有ができると良い。</p> <p>（谷本）</p> <p>アンケートで議題や今後議論できるようなテーマなどを出し合っただけだと良い。ヒトの共有があれば、講師として招いて議論できる場がでてきても良いのでは。どんどん案を挙げていただくと運営側としても助かる。</p>
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

知り合いの方の話を聞けるような場でも良いので情報をいただきたい。そういった場もできなければ延期で。

(折原)

1ヶ月はあっという間なので、議題が無い場合は延期の方向が良い。

(谷本)

牛鬼会議の開催が延期となる場合は、情報の共有はメールまたはグループラインですが会議は延期ということもご了承ください。

(山本和美)

水曜日へのアジェンダ作成も中々大変。講師の依頼は水曜日への期限が短くはないか。

(谷本)

いつのタイミングでの判断というのは少し前倒しにすることも必要か。

(山本和美)

講師を依頼するのであれば、事前の準備が大事。

(前田)

八幡浜のトロール会議では主要メンバーのコア会議を2カ月に1回。その間の月は勉強会、研修会を全体でやっている。

全体会とコア会議で回していくのも良い。そうするともっと幅広い方も参加できる。研修計画を事前に立てておき、三か月に1回やるとすると計画が立てやすい。直前になると大変なので、来年度はこうしますというのを立てた方が動きやすい。

(谷本)

トロール会議では必ず研修がある。

(前田)

2カ月に1回ある。八幡浜高校の生徒の勉強会の発表などもある。宇和島でも高校生の活動がある。

(谷本)

来年度は計画性をもって、牛鬼会議のコアメンバーとも相談しながら、講師を紹介いただきながら進めていきたい。試しに今年度やっても良いが来年度に向けて準備していきたい。

締切なども改めて決めさせていただくが、来年度に向けて牛鬼会議の運営方法を少し考えていきたい。

(前田)

トロール会議では、普段の顔の見える関係性をつくるということで、関係者に集まってもらってTwitterを用いた情報発信の訓練をしたりもする。地元企業のフジや四国電力に全大会に来てもらう形もしている。防災士にきてもらって地域の訓練的なことも。

(谷本)

一度見に行きたい。

(前田)

全大会は、内容によって昼やるか夜やるか話ながら決めている。

(竹内)

牛鬼会議が最初は豪雨災害の復興支援活動の課題共有だったが、今後、平時のネットワーク活動に移っていく。顔の見える関係性づくりが大事。勉強会の準備は年間計画で良

く、一つずつ共有できる仕組みがあると良い。その上で、課題と感じたことを話し合う場でも良い。

(中島)

竹内さんの話を聞いて、なぜ牛鬼会議が始まったかというところ。

作業部会からの話の流れで参加するようになった。関係してくる人が減ってきたと感じた。当初は色々な人が来ていたが今は減ってきている。(牛鬼会議で)話したことが住民の人に伝わっていないのではないか。

住民のためになるよう色々なNPO団体も巻き込んで知恵を出し合ってやるのが良い。農家として、この会をためにしていく必要があると感じる。農業支援、産業振興の所が少なくなってきた。住民とネットワークを作って、住民を巻き込んで行く必要があると感じる。NPOセンターも地域住民と密な関係をつくらないといけない。

巻き込んでやるという意識が重要。住民を引っ張りこんだ活動にしていけないといけない。色々な人たちに来てもらうような形。防災・減災の前に災害のことをもっと知る。それを知った上で、取り組んでもらうという活動が必要。

宇和島東高校の卒業生で香川大学の生徒が来てくれたが、宇和島市の災害について知らないという方もいる。

(竹内)

NPO団体にも声掛けをしている。災害の備えの一つとして、振り返りができるツールがあると良いか。災害があったことを忘れないという意識も含めた勉強会をした上で意見交換ができるところを目指していかないといけない。コーディネーターがいるのではないか。

(前田)

12/20にトロール会議の全体会を開催する。テーマは自主防災組織の活動、三地区から来てもらって自主防災活動の話をしてもらう。色々な人に役割をつけてきてもらうと良い。この話をしてほしいという形でできてもらうと良い。

2. 関係団体からの活動報告と予定

(1) 宇和島npoセンター

別紙のとおり。

体験型防災プログラム9/17

(林)

こども食堂5団体と連携し、こども食堂からは700食配布。体験には、降雨体験、土石流3Dシアター、起震車、消火体験も実施、県の土砂災害タイムラインシートワークショップにも参加してもらった。ボランティアバンクからボランティア募集をして運営側に10名参加いただいた。

おでかけバスツアー9/21

42名参加。吉田町高齢者の方も参加いただく等、コケ玉作り、佐田岬のはなはなへお出かけした。機会を作ってもらって良かったという声もいただいた。被災者支援という形でも行っている。八幡浜ではやっていないので、やってほしいという声も聞いた。

(東)

高齢者の方の孤独孤立等なかなか見えないところがある中で、そういうきっかけ作りであったり、行政と高齢者ではなく、高齢者同士、それぞれ地域の方同士が繋がるきっかけになっていけたらいい。

(中島)

バスのステップが高いということだがバスは宇和島自動車か。バス事態が四国88箇所をまわるようなバスある。金額面はそんなに変わらない。高齢者に配慮したバスもある。

体験型防災プログラム10/13

防災授業 吉田中学校1年生

講師の方から被害想定などを学び、危険個所を中学生が自分達で調べて作成した。その後、パラコード（パラシュートコード編んだ物）づくりも実施。

どのお選手権 吉田中学校1年生10/14

中学生が50個を一番早く正確に作ってもらったチームが優勝、土のお選手権トロフィーをプレゼントした。土は株式会社シンツから無償提供。土のお袋&ドリンクは株式会社浅田組から無償提供。企業としてボランティアバンクにも登録いただいた。農家に直接渡しただけで時間もつくり、3名にどのおをわたした。

(中島)

土のお袋の中に入っているのがほぼ砂。敗れたら全部流れてしまう。がけ崩れの元になる。土でないと固まらない。園地で使う土のおにはならない。園地復旧に使う土のおは山になるものでないといけない。これまで災害で土のおをつくった団体に聞いてほしい。土のおに使われる土、砂によって使う場所が異なる。

ぼうさいこくたい10/22

(林)

全国からの高校5校（福島高等学校、灘高等学校、矢掛高等学校、宇和島東高等学校、宇和島南中等教育学校）当日参加者も交え、発表後、グループディスカッションを実施した。

平成30年7月豪雨の匂いを再現した瓶も作成した。ホームページにYouTubeでも閲覧可能。

(前田)

高校生も交え意見交換がかなり活発にできた。高校生がやっていることについての評価は高かった印象。

防災士のかたも来られていて、そういった方は防災に特化した議論。

矢掛高校は匂いについて発表。宇和島南、東は合同避難訓練の話で混雑度の実感について話があった。福島高校は避難所の運営ゲームをつくりたいと色々と試している。

灘高校は災害時にどうやって自分たちが動くかという話。阪神淡路から時間も経っているが、語り継ぐことをしっかりとやらないといけないという話。

グループに2校ずつ違う学校が入って意見交換も行ってた。また、出展の他ブースの生徒も飛び込みで参加してくれた。

高田地区防災避難訓練10/30

(林)

避難訓練に参加した。高田地区のある方の自作の窯も使った炊き出し訓練や消火訓練、AEDの講習も宇和島消防津島分署から来られて行った。津島分校の生徒が全員参加したほか自主防災組織も参加。参加者約160名。

住民も交え約120人で12チームに分かれHUGゲーム（避難所運営ゲーム）を開催した。生徒からの感想では勉強になった。スピード感をもって考えていけないといけないといった感想をいただいた。

(2) 地域支え合いセンター

(佐藤)

かむかいよしだと介護サービスの利用

NPOセンターの方と付き添いで高齢女性が来訪。要件は、家の掃除をしてほしいことと庭の草抜き。買い物は自分で歩いていっている。最近玄関先でこけてけがをして救急車をよんだこともあり、自宅での転倒もあるということで、部屋の掃除や買い物代行をかむかいよしで対応できるが、定期的に何らかのかたちで支援できたらということで、介護認定を案内。相談先が分からないということで市につないだ。庭の掃除はかむかい吉田で対応。

当初、1回の予定だったが2回に分けて実施。介護認定は市で確認したところ、認定を受けていた。結局、包括につないで担当が訪問。介護サービスの利用について説明したが、最終的にはケアマネが訪問したところ、今はいいですということで何とかできているのですぐに利用には至っていない。草抜きで満足したところもある。必ず近所の人が集まってきにかけていただいている状況がみえた。

隣近所の方が頻繁に気にかけている。娘が西予市にいるが時々様子を見にはきている。感じたこととして、隣近所の方が気を掛け合っている。これも災害のきっかけでできた関係の一つと思う。NPOセンターが関わっていただいている見守り体制が取れていることが本人にとってはすごく良かった。隣近所のつきあいがないと自分から声をだすことが難しい。今後も地域の方にも声をかけてすこしでも気づいた方がいれば教えてほしい。できるだけ孤立しないところを目指して支援をしていきたい。

(3) 宇和島グランマ

(折原)

9/30～10/2フードドライブ事業を実施したほか、10/8にいぬび食堂も実施。少しずつ地元で運営できるようなきっかけになると良い。ボランティア募集ではNPOセンターにもお世話になった。10/14ひとり親支援にフィリップモリスジャパンの方にお手伝いいただいた。10/22ぼうさいこくたいにも参加。ぼうさいとこども食堂ということで危機管理課、こども家庭課とも連携して発表させていただいた。社会福祉協議会からの繋ぎでコカ・コーラ社の寄付自販機の話をしていただいている。命学生プロジェクト2022、若者の力でヘルスケアの問題をテーマにした実践型プログラムと減塩弁当を50食ずつ作り近隣の高齢者へ。吉田町の奥南出身大学1年生の女の子を共にカターンへプロジェクトで繋ぐ。

(4) Clean the coast

(谷本)

海岸清掃情報共有会議について紹介。海岸清掃に関しての共有ができることについては、牛鬼会議でも共有をしていただけると良い。

(東)

牛鬼会議や色々な方との協働と関連するが、様々な団体と一緒に地域課題の解決をする方向性を示す指針の作成を進めている。

行政ができること、社協の方々が得意なこと、また、NPO団体や地域の方がすることによってより良くなることがある。

この情報共有会議自体も災害の支援課題解決から始まって、今災害のところがニーズが減ってきている中で様々な地域課題があり、行政だけで把握できないことを共有し解決に向けた共有やつながりがありありがたい、指針については、進捗がありましたら共有していく。

(中島)

玉津地区、9/22. 23に香川大学から33名の支援があった。22日は農作業支援。23日午前中、男性はきさいや広場の現地設営、女性はグランマの支援。

大規模再編地域の現場近くの砂防ダム工事中の現場も見てもらっていた。23、24日は県庁職員も来宇。どちらの団体も、OBも有償ボランティアで入った。県の意向としても現地を見てほしいとのこと。来月も来訪の予定。農業支援に入ってくる場合も最初は農家をお願いをして入っていたが今は農家からいつ来るのかという声。農家とのつながりを密にしたい。

宇和島は通年の語り部がない。そういう人をこれから作っていくのもNPOセンターの役割と思うがどうか。西日本豪雨ということであれば、西予市、大洲市、宇和島市。

玉津の農家からコメを使う所はないかということでグランマで使ってもらった。補助事業の原形復旧があるが、農家が申請していなかった。

(竹内)

災害ケースマネジメント研修IN香川。四国で災害支援ネットワークをつくりたいということで、顔の見える関係性、ネットワークづくりが必要。

(増田)

災害に関して看護の視点でどういったことができるか。災害がおこった町でどういった支援ができるかを学んでいる。病院や保健師としてのイメージがしやすい中で看護師としての活動の場は病院だけではないと思っている。

高知県立大学院に入学して災害看護を学んでいる。EGN（えひめグローバルネットワーク）にインターンとして参加しているきっかけも地域で災害に備えるということでもどんなことができるか。イベント、プロジェクトを企画運営をしていくプロセスを学びたくてインターンに参加している。

今回、牛鬼会議で災害、防災、減災について行政やNPO団体が共有して検討している会議というのを今まで知らなかった。高知にもこういうのがあるのかどうか、いままで大学院での学びはあるが活動への参加が少なく、感動している。

微力ながらも看護の視点でどんなことができるのかをインターンしながら一緒に考えていけたらと思う。

(谷本)

いま勉強していることと連携して西本さんも要配慮者支援チームに参加されているということで一言、西本さんの活動も聞きたいが。

(西本)

理学療法士として、JRAT（日本リハビリテーション災害支援チーム）（愛媛ERAT）に参加している。DMATの後、要配慮者のところに入って支援を行う。あくまでも地元から県への要請があって県から要請があって派遣される。平成30年7月豪雨では宇和島にははいらず八幡浜で活動。東北や熊本でもチームが派遣されていた。避難所での血栓症予防や動けないことによる廃用症候群予防、避難所構造が避難者にあっているかどうか等。あっていないければ相談の上、適切な支援、構造変更なども支援している団体。

案内

(谷本)

12/4災害ボランティア養成講座、12/4ICT講座。同日だが参加を。

(佐藤)

12/4災害ボランティア養成講座

新潟災害ボランティアネットワークから李 仁鉄氏を招いて開催する。

参加無料。ぜひこちらにも参加を。オフライン開催のみ。

今、支え合いセンターでしている郷土の基盤づくり事業で取り組んでいる中で、企業版見守り支援ネットワークを吉田町内につくろうとしている。企業の通常業務で見守りができる体制をつくろうとしている。通常業務に支障のない範囲で連絡が取れる体制ができたらと思っている。

(谷本)

11/26、歌声喫茶を天野先生を招いて開催。高齢者に参加いただいて楽しい時間を過ごしていただく。NPO法人夢の里おんがくどうにも協力いただく。参加者は高齢者にも関わらず。

重機講習会を11/27に四国災害ネットワークとセンターで共同主催で開催する。浅田組の西予市の土場で実技を行う。座学を西予市公民館で行う。初心者でも参加可能。午前中は座学、午後は実技。ぜひ興味のある方はご案内するので参加いただきたい。

12/6、イベント作り方講座も開催。興味のある方はぜひ参加を。

(中島)

玉津の農家さんからグランマへお米を70kg支援した。土のうを800作った。土のうニーズ多い。自立復旧している。中学生とまた、土のう作りをしてほしい。

災害復旧の支援は今年度まで。

吉田小学校閉校5校もどうなるかわからない。小学校低学年交流会できないか。

(東)

土のうがたくさんいるのは、30年7月豪雨のときと同じ場所か？

(中島)

	<p>申請せずにいた所を直したい人が多い。自宅が浸水したので、農地に手がまわらなかった。玉津年あけたら土のう作りが始まる。</p> <p>(東)</p> <p>関係するところでできることがあればと思う。</p> <p>(中島)</p> <p>みかん収穫アルバイト募集する。</p> <p>次回第74回牛鬼会議 12月16日(金) 18:00～ 宇和島市総合福祉センター3階</p>